



伊勢湾台風以来の大災害

9月に来襲した台風12号は全国に大きな被害をもたらしました。

本村では、台風の警戒を解こうとした頃、西谷（迫・寺尾）で大きな土砂崩れが発生しました。この災害のため、国道が分断、電話やテレビ、水道などライフラインが断たれる事態となりました。

● 主な内容 ●

台風12号がもたらした大災害	2～3
戸籍の電算化（コンピュータ化）	5
遊水フェスタ	8～9
満足ガイド	16
図書館だより	17



広報かわかみ

平成23年9月16日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上宣言

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。
（毎号1項目ずつ掲載していきます。）

台風12号がもたらした大災害



川上村災害対策本部を役場に設置

村内でも被災の報告が他にもありますが、この土砂崩れによる影響はとも大さいものがありました。電話線やテレビ線、送電線が断線し、幹線道路である国道が押し流されました。このため、情報網であるテレビや固定電話、携帯電話が使用できな

9月4日の午後5時20分頃、大きな音や揺れと共に、川上村中央部にある西谷（迫・寺尾）で大きな土砂崩れが発生しました。記録的な大雨をもたらした台風12号の雨も弱まり、誰もが安心した頃の出来事でした。

この山崩れなどの台風被害により、村内各地で水道や電気、電話、テレビなどのライフラインと呼ばれる生活に密接したものに障害が発生しました。ただ、これら災害で人的被害がなかったのは不幸中の幸いです。

台風12号は5日午前3時までに、大台ヶ原で2、400ミリメートルを超える累積雨量が観測され、県内でも山間部で大きな爪痕を残しました。

くなり、大規模な停電が発生しました。また、寺尾地区では送水管が流されたことから、水道機能も同時に失われました。

各関係業者による昼夜の作業によって復旧が急ピッチに進められ、以前のような日常に戻りつつあります。しかし、幹線道路の復旧には時間が必要で、対岸の迂回路の利用は長期化するものと考えています。

災害対策本部を設置

4日、役場前に設置された川上村災害対策本部は避難指示を発令し、避難所となったやまぶきホールに、迫地区住民28名と国道決壊による帰宅困難者62名の合計90名が一時避難を余儀なくされました。この日の内に対岸道路を徒歩などで役場職員が登庁。また、白倉



村内各地で消防団が活躍

会館（西河）にも集結した役場職員や消防団、森林組合が、寺尾地区や北塩谷地区の住民への対応にあたりました。大規模災害への対応である実質的な3号動員（総動員）が整いました。これは伊勢湾台風以来のことです。

対策本部の対策チームが情報収集などにあたり、やまぶきホールではケアチームが避難者への対応を行いました。そのほか、宮の平区の皆さんがボランティアで炊き出しの協力をいただき、温かいおにぎりで心が和む一時もありました。

吉野土木により迂回路の開通 そして、避難指示の解除

5日朝に行われた災害対策会議には、村長をはじめとする役場幹部だけでなく、国土交通省や警察、土木事務所、消防署及び消防団が参加し、今後について協議を行いました。

その後、昼には対岸道路の迂回路が一般車両に解放されました。この迂回路は、国道に比べ細く曲がりくねっています。通行は、ガードマンの指示に従い、交互通行にご協力ください。

災害翌日には、大西孝典衆議院



防災無線で状況を放送



要介護者対策も協議

議員や田野瀬良太郎衆議院議員、松尾勇臣県議会議員が本村を訪れ、被災状況などの聞き取りや励ましの言葉をいただきました。その後、村が国土交通省のデータを元に迫地区が安全であると判断し、避難指示を解除。一夜ではありましたが、不自由な避難所から住民は帰宅されました。

翌6日には、国土交通省や農林水産省、気象庁などさまざまな立場の専門家が来村し、土砂崩れの現場を視察されました。

現地では、電柱の設置が行われ、電話線やテレビ線の復旧工事が急ピッチに進められていました。

情報インフラの不足

今回の土砂崩れにより、役場自体も外部との通信手段が衛星電話と村防災無線だけとなりました。

このため、6日には衛星電話を役場・ふれあいセンター・入之波公民館に設置。安否確認や緊急時

の使用に限定し、皆さんにも利用していただきました。そのほか、村内各地の情報の収集に、職員を各地区に派遣しました。伯母谷地区など車で乗り入れができない地域もあり、災害時の状況把握の困難さを改めて認識しました。



住民協力で炊き出し



毛布など災害物資も搬入

前田国土交通大臣が現地調査に来村しました

土砂崩れから4日目の9月7日、前田武志国土交通大臣が現地調査を実施しました。

前田大臣は大西孝典衆議院議員、中村哲治参議院議員と共に、ヘリコプターで健民グラウンド（西河）に来村。災害現場を訪れ、村長から状況説明と牟禮紀の川ダム統合管理事務所長から現地説明を受けました。

大臣から「歴史ある地域ですから、災害に負けずに頑張ってください。」と励ましの言葉をいただきました。



左から大谷村長、前田大臣、大西議員、中村議員



前田大臣らのほか国土交通省河川局長、近畿整備局長も来村し、現地を確認



高齢者の生活状況と健康状態 その1

高齢者と同居している家庭

本年3月末に「高齢者の日常生活の実態を調査する日常圏域ニーズ調査」を実施し、皆さんにご協力をいただきました。

その結果が整理できましたので一部を抜粋し、4回に分けて報告します。詳細な内容は、役場住民福祉課で調査結果報告書をご覧ください。

《調査対象者》

平成23年3月1日現在で65歳以上の方

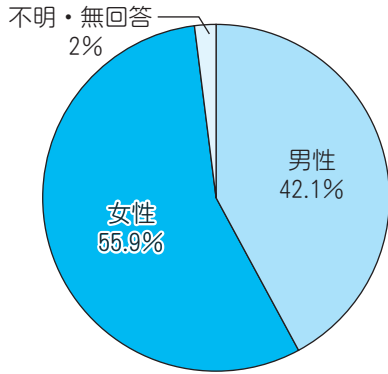
《調査期間》

平成23年3月15日(火)～25日(金)

1. 65歳以上の方について

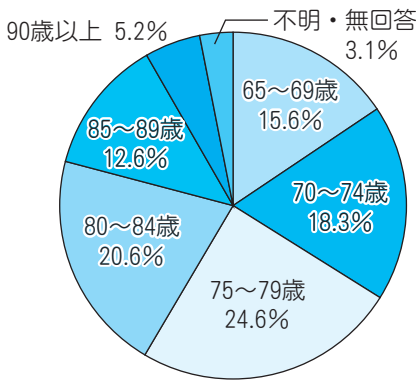
①性別

「男性」が42・1%、「女性」が55・9%となっています。



②年齢

「75～79歳」が24・6%と最も多くなっており、次に「80～84歳」が20・6%と続いています。

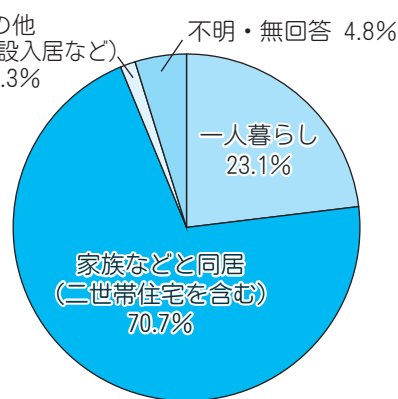


回 収 結 果		
有効回収率	有効回収数	調査対象者 (配布数)
82.7%	744件	900件

2. 世帯の状況

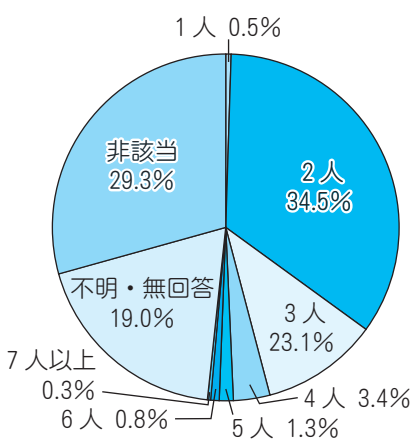
①同居家族の有無

「家族などと同居」が70・7%と最も多く、「一人暮らし」は23・1%となっています。



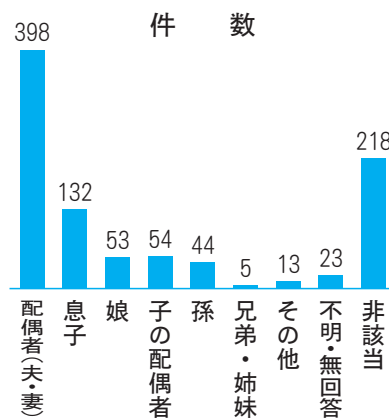
②同居家族の人数(本人を含む)

「2人」が34・5%と最も多くなっています。



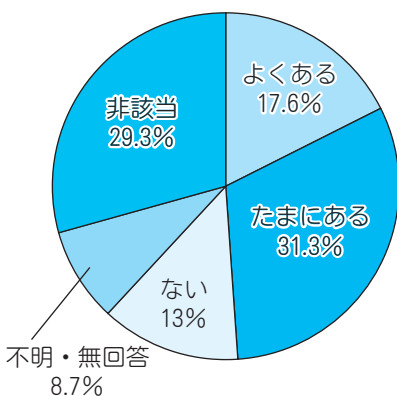
③同居の家族

「配偶者」が398件と最も多くなっており、次に「息子」が132件と続いています。



④日中に孤立する可能性

「たまにある」が31・3%と最も多く、次に「よくある」が17・6%と続いています。『ある』『よくある』の合計は48・9%となっています。



平成24年 1 月から

戸籍事務の電算化(コンピュータ化)がスタート

川上村では、戸籍の作成や証明書の発行をより早く行うため、戸籍の電算化に取り組んでいます。

戸籍の電算化ってどういうこと？

戸籍は、和紙で作られた戸籍原本をもとに、手書きやタイプライターによって事務処理が行われてきたため、戸籍の各種証明書の発行に時間がかかっていました。

コンピュータで管理することで、戸籍謄本・抄本（電算化後は「全部・個人事項証明書」）の発行時間が短くなり、証明書も見やすく、分かりやすくなります。

電算化すると何が変わるの？

戸籍の証明書の様式が変わります。

現在の縦書きによる文章の記載から、A4サイズの横書きで、項目ごとに記載されます。

電算化前

この謄本は、戸籍の原本と相違ないことを証明する。

平成 年 月 日 大谷 一二 印

出生	母	父	出生	妻	母	父	出生	夫	母	父	氏名
昭和五拾五年参月拾五日	昭和五拾五年参月拾五日	昭和五拾五年参月拾五日	昭和五拾五年参月拾五日	花子	奈良次郎	奈良次郎	昭和五拾五年参月拾五日	太郎	川上一郎	川上一郎	川上太郎

電算化後

(1の1) 全部事項証明

本籍	奈良県吉野郡川上村大字追1335番地7
氏名	川上 太郎
戸籍事項 戸籍改製	【改製日】平成24年1月7日 【改製事由】平成6年法務省令第51号附則第2条第1項による改製
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【生年月日】昭和23年3月18日 【配偶者区分】夫 【父】川上一郎 【母】川上良子 【続柄】長男
身分事項 出生	【出生日】昭和23年3月18日 【出生地】奈良県吉野郡川上村 【届出日】昭和23年3月25日 【届出人】父
婚姻	【婚姻日】昭和50年11月15日 【配偶者氏名】奈良花子 【従前戸籍】奈良県吉野郡川上村大字追1335番地7 川上一郎
戸籍に記録されている者	【名】花子 【生年月日】昭和25年3月1日 【配偶者区分】妻 【父】奈良次郎 【母】奈良美子 【続柄】長女
身分事項 出生	【出生日】昭和25年3月1日 【出生地】奈良県吉野郡川上村 【届出日】昭和25年3月11日 【届出人】父
婚姻	【婚姻日】昭和50年11月15日 【配偶者氏名】川上太郎 【従前戸籍】奈良県吉野郡川上村大字追100番地 奈良次郎

発行番号 0000001

これは、戸籍に記録されている事項の全部を証明した書面である。

平成24年1月10日

奈良県吉野郡川上村長 大谷 一二 印



今までの戸籍はどうなるの？

電算化前に使用されていた戸籍は「平成改製原戸籍」として保存されます。

手書きで書かれている氏名の文字はどうなるの？

氏名の文字は常用漢字などで記載されます。

これまでの手書きで作成された戸籍には、くずし字、書き癖などで書かれているものが多くありました。戸籍が電算化されることで、これらの文字は常用漢字、人名漢字、ひらがな、カタカナなどの文字に置き換えられます。

氏名の文字の取り扱いなど、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】役場住民福祉課 TEL 52-0111

木を知り 森を学ぶ

もく しょうじゅく

木匠塾サマースクール



最終日に行われた講評内容は、彼らの今後の糧になることでしょう

このサマースクールの実施に先立ち、7月2日に役場会議室で制作物のプレゼンテーションが行われました。学生が地元関係者に今年の制作内容を提案し、複数の案の中から制作物を決定するこのプレゼンテーションも大切な工程の一つとなっています。また、それに必要となる建築材の調達についても、村有林で学生たちが伐採し、搬出も行っています。学生たちにとっては、これら丸太の風味を生かし、それらの使い手の立場で考えたデザインや施工方法を総合的に学べる貴重な学習の場となっています。

今年も川上村木匠塾サマースクールが、8月6日から12日の7日間にわたり実施されました。このサマースクールには、滋賀県立大学、大阪芸術大学、奈良女子大学、近畿大学、大阪工業大学、摂南大学の6大学の学生66名が参加しました。村としては、建築家などの卵である彼らに吉野材の良さを知ってもらい、販売促進に繋げて行きたいと考えています。



試行錯誤を繰り返しながら取り組んだ制作



今回もサマースクールでは地元建築関係者の指導を得ながら制作を進めました。今年の制作物は次の3ヶ所です。

◎木製デッキ ちよいちよい

(白川渡オートキャンプ場)

◎枝垂れ桜保護柵兼ベンチ

(あきつの小野公園・西河)

◎木匠館玄関等改修

・下駄箱、倉庫棚、階段、花壇

(東川)



①下駄箱（木匠館） ②花壇に設置したベンチ（木匠館） ③倉庫棚（木匠館）
④枝垂れ桜防護柵兼ベンチ ⑤木製デッキ ちょいちょい（白川渡オートキャンプ場）

最終日の12日には、完成した制作物を関係者に披露、説明を行いました。また、それら制作物の設計や工程について関係者から講評を受けました。

木匠館の下駄箱では、入館者が靴を履き替える際に、靴を掛けられるように設計され、一連の行為を捉えて考えられていることなど高く評価されました。しかし、「制作時間が足りなかったのだろ」と思われるが、水平であるはずの部分に段差がある。『まあいいか』という安易な妥協は建築に携わる者として許されないと、いう厳しい意見もありました。また、保護柵兼ベンチでは、「丸太の良さが生かされているデザインでできており高く評価できる。しかし、それだけに基礎部分にもう少し工夫が欲しかった。」など、先生方から専門家として厳しい指摘が行われました。

彼らがこの夏に取り組んだ制作物は彼らの後輩や観光客などに実用されるものです。今回の経験に反省を加え、今後の活動に役立てて欲しいと思います。そして、多くの方が吉野材に触れ、その良さを共有していただければと思います。

第14代川上村木匠塾 代表幹事

拵 邦彦（滋賀県立大学）

私たち木匠塾は「木を知り、森を学ぶ」をテーマに活動しています。今年の活動は村内見学に始まり、林業体験、サマースクールを行いました。

林業体験では普段体験できないような木の伐採や林業の現状を学ぶことができました。サマースクールでは木匠館に1週間泊まり込み、制作を行いました。木匠館では階段の補修と花壇の改修、玄関の整理を行い、白川渡オートキャンプ場では初代木匠ベルト「ちょいちょい」の改修と痛んでいる材の交換、あきつ小野公園で桜の保護柵兼ベンチになるような作品の制作を行いました。

どれも学生が昼夜真剣に考え練った作品で、悪戦苦闘しながら加工し、無事期間内に仕上げました。もし時間がございましたら、作品を見ていただければ幸いです。

最後に、山と自然の凄さや吉野材のこと、林業のこと、物を作ることを経験し、多くのことを学びました。これも協力してくださった方々のおかげです。これからも木匠塾をよろしく願っています。

遊水フェスタ 2011



会場をあきつの小野公園（西河）に定め、村内各施設で限定プログラムを開催しました。「アマゴつかみどり」は中井溪谷自然塾（東川）、「押し花しおりづくり」「牛乳パックリサイクル紙漉きハガキづくり」は森と水の源流館（宮の平）、「ウッドクラフト」は匠の聚（東川）で実施しました。

8月6日に、あきつの小野公園で「遊水フェスタ2011」を開催しました。
これは「奈良 山と森林の月間」にちなみ、多くの方に「水源地のむらづくり」をめざす本村の清流に親しみ、源流を知ってもらおうと企画したものです。昨年に引き続き2回目の開催で、今年も多く家族連れが訪れました。



冷たい水を楽しみながら、水生昆虫を探しました

会場で行われた「水生生物観察会」は、探偵ナイトスクープをはじめテレビやラジオでおなじみの谷幸三先生（大阪産業大学非常勤講師）を講師に招いて行われました。午前、午後の2回に分かれ、55名が参加。
この日、ヘビトンボやトンボのヤゴなど多くの水生昆虫などが観察されました。実は、この観察結果から水質を知ることができます。例えば、このヘビトンボは清流にしか住めず、幼虫で3年間を過ごすことから、水質・水量ともに安定して保たれていることを知ることができます。



榎からお椀、そうめん、つゆ、すべてが手づくり



参加者は清流を楽しみながら、水質調査に参加できる特典に満足していました。
また、超ロングな「そうめん流し」は音無川沿いに設け、約50メートルの長い樋の両側にズラズラっと人が並ぶ光景は壮観でした。



「とんぼ玉アクセサリーづくり」も人気

このそうめん流しは3部に分けて行われ、248名の参加がありました。

このほか、「とんぼ玉アクセサリーづくり」や「木のストラップづくり」も盛況でした。

中井溪谷自然塾で行われた「アマゴつかみどり」では、291名が手づかみに参加しました。逃げるアマゴに追いかける子どもたち。疲れ知らずの子どもたちにはアマゴも敵わないようでした。捕まえたアマゴを焼くのにスタッフは大忙しでした。

森と水の源流館ではこの日1日で165名が来館。団体でない一

般来館者の集計としては、最近にない入館者数となりました。

館外では、

「牛乳パックリサイクル紙漉きハガキづくり」を実施しました。

牛乳パックを原料に、和紙さながらの紙漉き体験を行うもので

す。漉いたハガキに草花をあしら

い、夏の思い出を添えていました。また館内では、押し花インストラクターの佐藤桂子氏を講師に迎え、「押し花しおりづくり」を開催しました。また、佐藤氏の夫で、本村の環境基本計画策定に副会長

として携わっていただいた佐藤孝則先生（天理大学 教授）にもお手伝いいただきました。押し花を利用したしおりで、夏休みの読書、また秋の読書にも重宝しそうです。ぜひ、活用して欲しいものです。このほか、会場で



屋内外でさまざまな体験イベント



泳ぎまわるアマゴと追いかっこ

は、商工会から「鹿肉カレー」の販売なども行いました。山村ならではの食材であり、また森林被害の状況を知ってもらえうきつけにもなったのではないのでしょうか。開催に際し、多くの方にご協力いただきましたありがとうございました。

8月24日に、橿原市商工経済会館で「社団法人近畿建設協会支援シンポジウム「水源地の村」からの提言」が開催されました。これは、森林と山間地域の新たな役割を考えることで、地域づくりのヒントを見いだしていこうとするものです。

今回は講師に、森真也氏（株式会社JTB西日本奈良支店長）を招き、「地域交流による活性化をめざして」をテーマに基調講演をいただきました。

また、村が取り組む住まいるネット（空屋バンク）で移住された方に登壇いただき、実体験による感想などコメントいただきました。



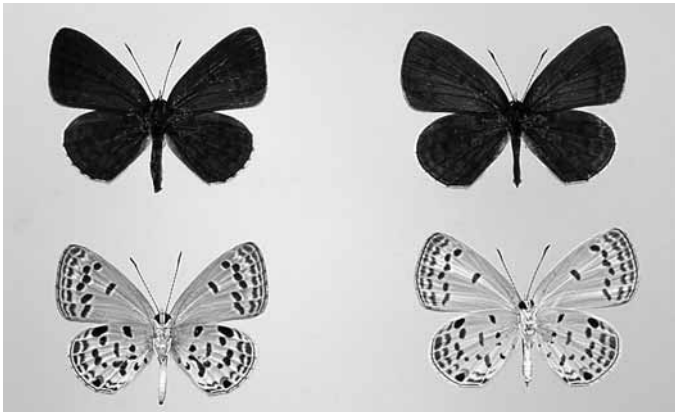
水源地の村からの提言
源流学的スローライフのすすめ

幻の蝶『ゴイシツバメシジミ』 の舞う森を再び

皆さんは国指定天然記念物「ゴイシツバメシジミ」という蝶をご存じですか。この蝶は国内では紀伊半島の一部（川上村）と九州の中央山地でのみ生息が確認されているとても珍しい蝶です。そして、最も絶滅の危機に直面している蝶でもあります。

本村では、この蝶の乱獲やその幼虫の成育に不可欠な植物「シンラン」の盗掘のため、蝶の生息の確認が途絶え、絶滅の危機に瀕しています。このため、環境省や林野庁では、生息地の保護などへの取り組みを続けています。本年からは貝田音男氏（上谷）も加わって新たな手法を試そうとしています。

保護に向けた取り組みについて紹介します。



羽を広げて1円玉ぐらいの大きさ
しかない小さな蝶
「ゴイシツバメシジミ」
（写真提供…伊藤ふくお氏）

最も新しく発見されたチョウ
最も絶滅に瀕しているチョウ

「ゴイシツバメシジミ」

ゴイシツバメシジミは、1973年に熊本県で初めて発見されたシジミチョウ科に属する蝶の一種です。その後の調査で、1980年に本村の限られた場所でも生息していることが確認されました。

しかし、これらの地域でも、最近では個体の確認記録は極めて少なくなっています。マニアなどによる成虫の乱獲、幼虫の食草であるシンランの盗掘などで環境が悪化していることがその大きな要因です。

このような環境破壊が過去から現在において行われ、生息地域として危機的な状況にあると考えら



奥深い森の中でも限られた生息適地

れています。

ゴイシツバメシジミは1975年に国指定天然記念物となり、1996年には国内希少野生動植物種（種の保存法）に指定され、保護への取り組みが行われてきました。

1997年4月には、当時の「環境庁・文部省・農林水産省」の連名で「ゴイシツバメシジミ保護増殖事業計画」が策定されています。この計画により保護の取り組みを行うとともに関係地域の住民をはじめとする国民の理解と協力を求めてきました。

発見から

現在に至るまで

1973年

小林隆史氏が、熊本県にて発見

1975年

国指定の天然記念物に指定

1980年

浜祥明、高須賀信悟両氏が、川

上村で発見

1996年

国内希少野生動植物種（種の保存法）に指定

1991年

環境庁「絶滅のおそれのある野生動物―レッド・データ・ブック」に、絶滅危惧種として掲載

1994年

環境庁の依頼により、大阪府立大学とならむしの会が合同で生息調査を開始

1997年

ゴイシツバメシジミ保護増殖事業計画策定

（当時の環境庁・文部省・農林水産省）

2000年

調査により成虫および卵が確認。これ以後、確認の報告なし

環境省主催による

「ゴイシツバメシジミ現地検討会」

本年8月5日に、専門家による現地検討会が開催され、同行取材を行いました。

生息の可能性のある地域は雨量が多く、湿度の高い地域と考えられています。この日もわか雨とムシムシした高い湿度を体感することになりました。

そして、観察場所へは川を渡る必要がありました。1980年代では、水深が腰ぐらいまであったようですが、2000年頃には長靴で渡れるぐらいに水深は浅くなっています。また、降雨があると急



現地検討会には環境省、林野庁、大阪府立大学、森と水の源流館などから17名が参加

激に増水し、濁ることが増えています。

このような現状と生息環境との関係は明らかになっていません。しかし、調査地域周辺では年々乾燥傾向があると報告されています。周辺地域の森を適正に管理していくことで、保水力の豊かな森を守り、生息地域の保全につなげていくことが重要だと考えられています。

これらの地域にはゴイシツバメシジミ以外にも貴重な動植物が確認されています。生物多様性の大切さが世界的に指摘される今、大切に守っていくことが求められています。



以前は腰まであった水深がこのとおり

シンランの増殖に向けて

このシンランは、イワタバコ科に属する着生植物です。生育環境は湿度の高い照葉樹林が適していると考えられています。

シンランはゴイシツバメシジミの幼虫の食草で、環境省や林野庁ではシンランの豊富な森の再生に取り組んでいます。

本年冬頃から、貝田さんに協力いただき、シンランの人工栽培も開始する予定です。

自然を破壊するの人もいますが、自然の保護に取り組めるの人も。ぜひ、これらの取り組みが実を結び、川上村の宝であるこの蝶の飛びかう姿を取り戻してもらいたいものです。



シンランの花と蕾（写真提供：伊藤ふくお氏）

第9回 川上村剣道交流会

8月27日に、川上武道場（旧東小学校体育館・北和田）で「第9回剣道交流会」が開催されました。遠くは埼玉県からの参加もあり、98団体から約700名の選手が集いました。これに監督や関係者を加えると約1、700名にもなりました。力強い太鼓の響きを合図に、今年も終始気迫のこもった多くの試合が繰り広げられました。



堂々とした選手宣誓を行う徳田公太君

大会では、試合に先だって高段者による「日本剣道形演武」が披露された後、道場内6面の試合場で一斉に開始されました。試合はすべて個人戦で行われ、剣士たちの気迫のこもった声と竹刀の音が響き渡りました。幼年の部など13の部門に分かれて行われた試合には、川上源流館から1名、川上中学校から3名が出場しました。今回の大会では、引地芳生選手が69歳の最高齢で一般男子の部に初出場し、特別賞を受賞しました。その堂々と凛とした姿に、剣道は若さや力だけではないと再認識させられました。新しいことに挑戦

源流の村の夏まつり かみせ祭

8月20日に、恒例の「かみせ祭」が役場周辺（迫）で開催され、村内外から多くの方が参加しました。今年も、「ちびっ子龍幻」の可愛くも勇ましい和太鼓の音で幕開けしました。また、メインゲストに奈良出身、演歌歌手の東大寺四郎を招き、コンサートショーも好評でした。

会場には、川上村商工会が中心となった実行委員会による射的や金魚すくい、焼きそば、焼き鳥などの手づくりの夜店が並び、多くの人だかりとなっていました。

また、「川上村響会 龍幻」による勇壮な和太鼓演奏（表紙）も行われ祭を盛り上げてくれました。被災地・被災者の復興を願いつつ多くの踊り子が、夏の終わりを惜しみました。



「おやじありがとう」で昨年デビューの東大寺四郎

祭では東日本大震災被災者への募金も募り、バザーの売り上げの一部を合わせて、日本赤十字奈良県支部に寄付しました。これは、「かみせ祭を開催することで被災者の応援をしたい。」という思いを行動にしたものです。





する姿勢は見習わなければなりません。

早朝から多くの少年少女剣士たちが集いました

参加選手最高齢の引地選手

また、来年は第10回を数える記念大会、早くも来年に向けた剣士たちの取り組みが始まっています。



白熱した試合に道場は熱気に包まれました



各杯受賞者《敬称略》

知事杯

杉本竣作（旺武道場・三重県）

村長杯

小角朋樹（鴻ノ池道場・奈良市）

議長杯

小角春奈（鴻ノ池道場・奈良市）

教育長杯

塚本結衣（習心館道場・奈良市）

吉野署長杯

西口和希（奈良尚武館・奈良市）

小林利道杯

徳田公太（川上中2年・東川）

特別賞

脇本得幸（膳所剣友会・滋賀県）

引地芳生（北浜葉葉館・三重県）

匠の聚の盆踊り

8月15日に、匠の聚イベント広場（東川）で盆踊りが催されました。

これは波津と匠の聚のアーティストの皆さんが中心になり実施したものです。焼きそばなどの屋台のほか、アーティストの陶芸や絵はがきなどの作品の福引きも好評でした。



音頭にあわせて国際色も豊かな踊り子さん



こんにちは
保健師です



9月1日～30日は健康増進普及月間です。健康的な生活習慣の確立や健康づくりを促進するために設けられています。

日本人の平均寿命は年々伸び健康水準も向上してきました。しかし、生活習慣の変化等に伴い、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中等の生活習慣病が問題となっています。

高齢化や病気の構造、医療費からみると、私たちの健康管理の目的は、「早期発見」「治療すること」ではありません。生活習慣を改善し、寝たきりにならない状態で生活できる期間「健康寿命」の延伸を図ることが目的ではないでしょうか。

★標準体重を知りましょう

標準体重＝身長□・□m×身長□・□m×22＝□kg

無理な減量は禁物です。継続することが大切です。自分に合った方法を見つけましょう。

◆食事での工夫

- ・野菜やきのこ、海藻等の食物繊維が豊富なものを先に食べることでお腹を膨らませましょう。
- ・ゆっくりとよく噛むと満足感が得られると共に脳や歯にも良い影響があります。
- ・調理法や素材を選び脂質や塩分、糖分の摂りすぎを防ぎましょう。
- ・身近なところに食べ物を置かない。間食が習慣になっていませんか？間食しない習慣をつけましょう。
- ・甘いものや好物は代謝の高い朝や昼間に食べ、ストレスをためない。自分へのご褒美に。

◆活動量を増やす

- ・「朝の目覚めに布団の上で体操」「朝や夕のウォーキング」「テレビのラジオ体操と一緒に」など、生活の一部として習慣化してみよう。毎日よく動いているように思っているても、使っている筋肉は同じになりがちです。

生活動作以外で、意識的に身体を動かすよう心がけ、普段使っていない筋肉も動かしましょう。

*「医療費をかけて病院に通っているだけ」では意味がありません。将来のために自分ができることを実践↓「健康寿命」の延伸を目指しましょう。

子どもたち158名が参加
吉野郡児童生徒野外観察学習会

8月2日に、蜻蛉の滝（西河）より上流、吉野山への登山道沿いで、「吉野郡児童生徒野外観察学習会」が開催されました。本村からの参加児童5名を含め、吉野郡内から158名が参加しました。

これは小学校・中学校の先生で組織する吉野郡科学教育研究会の主催で毎年実施されているもので、理科離れが指摘される昨今、自然に親しみながら興味を持ってもらうねらいがあります。



吉野郡内から158名が集まり、本村で環境学習会

源流の村体験学習会
吉野川・紀の川流域協議会

8月4日に、あきつの小野公園や大滝ダム、中井溪谷自然塾など村内を会場に、「源流の村体験学習会」が開催。村内外から35名の吉野川・紀の川流域に住む家族が参加しました。

これは、吉野川・紀の川流域協議会の主催によるもので、水の大切さを体験をとおして感じ、学んでもらいたいと企画されました。参加者は水について学ぶとともに、夏休みの思い出のひとつになったのではないのでしょうか。



コップの水が生まれる源流の一つ音無川などを散策

防災無線を確認してください！

西谷（迫・寺尾）の土砂崩れにの際、停電になり利用できない世帯が多数ありました。
もしもの際に備えて、乾電池を確認してください。



乾電池の赤いランプが点滅している場合は、
乾電池を交換してください。

単2形また単3形乾電池 4本

※コンセントから電源をとっている場合は、緑のランプが点灯します。

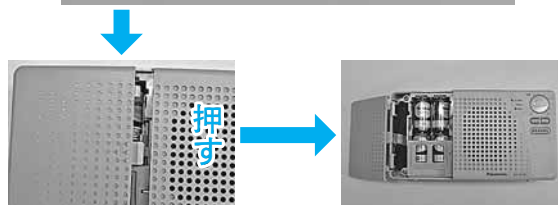
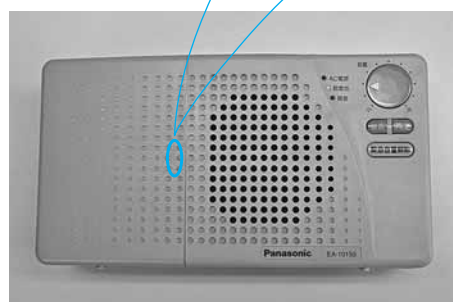
聞こえない場合は役場へ連絡してください。

【問い合わせ先】

役場総務税務課 TEL 0746-52-0111

乾電池交換法

突起のある部分を押しながら、左へスライドしてください。



清流

先日、日本では富士山に次いで2番目に高い山、南アルプスの「北岳」に登山してきました。
平成6年に川上村山岳愛好会が誕生し、夏は信州のアルプスを主体に、春秋冬には村内の山々を主に登山を楽しんできました。しかし、今夏は設立当初からの念願であった「北岳」に挑戦、8月23日から3泊4日で実施しました。
若者たちですと長くて2泊3日だそうですが、75歳という高齢の私を筆頭に、専門家でない山愛好者の会なのでゆとりある行程を計画。一行7名が川上を午前7時に出発、北岳登山口の山梨県広河原山荘に午後3時に到着しました。
この地で、すでに標高1、500メートル。気温18度のさわやかな気候に包まれ、明日の北岳山頂を夢見て眠りにつきました。
翌朝は4時起床。気温14度のスカッとした冷気の中、山荘前を流れる野呂川の瀬音に送られ、午前6時に山頂を目指して出発。登山道は最初からほとんど直登。75歳

の体には大変辛い。少し歩いては立ち止まり、息を整えての歩行なので距離が伸びず。ともかく懸命に前に進みます。広葉樹林帯を抜けるとそこかしこに雪渓が残り高山を実感しました。

ハイマツを始め、ピンク・白・紫など色とりどりの花々が苦しさをまぎらしてくれる中、出発から8時間あまり。ようやく待望の北岳山頂（3、193メートル）に到着しました。

一番の望みであった富士山の姿は折からの濃い霧で残念ながら見えませんでした。北岳の山頂に立つことができ、思わず万歳三唱。感激のあまり胸を熱くしました。

これまでも有名な山々ではそれなりに感動しましたが、今回はまた格別の達成感を得ることができたように思います。

皆さんもいかがですか。

大峰連山に囲まれる村内の山々もそれなりにすばらしいのですが、アルプスを始め全国の百名山に名を連ねる山々もなおいっそう、人生観を高揚させてくれます。ぜひ「川上山の会」に入られ大自然にふれて充実した日々を送られるようお勧めします。

松本 修

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

山の学校 達っちゃんクラブ

★達っちゃんクラブの森を作ろうDAY

達っちゃんクラブの森を手入れしながら、自然の大切さを学んでみましょう。記念植樹した木の成長も楽しみですね。

と き 平成23年 9月24日(土)

定 員 50名

参加費 大人 500円 (小学生以下無料)

※抽選締切は、1ヶ月前。

※近鉄大和上市駅まで送迎あり。



《山幸彦のもくもく館 TEL 0746-53-2929》

匠 の 聚 (たくみのむら)

▲匠の聚フォトコンテスト2011

自然が織り成す神秘的な風景や動植物たちの姿、それと共に生きる人々の暮らしなど、写真を通して心動かす作品を広く募集いたします。

詳しくは、匠の聚フォトコンテスト事務局までお問い合わせください。TEL 0746-53-2381

撮影エリア 吉野郡全域

応募資格 プロ・アマを問いません

規 定 カラー・モノクロプリント。四つ切りサイズに限る。組写真は1組5枚まで。未発表作品に限る。

締め切り 平成23年 9月30日(金)

17:00必着

《匠 の 聚 TEL 0746-53-2381》

森と水の源流館

■企画展「奈良県のヘビ展」

ふだん、多くの人から嫌われ、疎んじられているヘビのことを、一般の人に少しでもよく知ってもらい、正しく理解していただいて、少しでもヘビという生き物への関心を持っていただけるように奈良県のヘビ8種を紹介します。

と き 平成23年 9月30日(金) まで

場 所 森と水の源流館

※要入館料 大 人 400円

小中学生 200円



■源流学の森づくり体験会

と き 平成23年 9月25日(日) 9:30~16:30

定 員 15名

参加費 大 人 1,500円

小中高生 1,000円

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》



ふるさと市開催日

【9月】17・18・19・23・24・25日

【10月】1・2・8・9・10・15・16・22・23・29・30日

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

川上村内の風景・行事・自然・歴史などいろんな情報を日替わりで発信しています。是非ご覧になって下さいね！

QRコードを読み取って

携帯電話で「かわかみブログ」にアクセスしよう！

<http://blog.livedoor.jp/kawakamimura/>



図書館 だより



今月のオススメ

『ポニーテール』

重松 清 著 / 新潮社



それぞれの父と母が再婚したために、ある日姉妹になったマキとフミ。性格も年齢も違う二人が少しずつ距離を縮め、家族としての絆を深めてゆきます。そんな2人を暖かく見つめる両親の苦悩。衝突した分だけ仲良くなれる、ということを教えてくれる物語。

図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

	日	月	火	水	木	金	土
❖					1	2	3
9	4	5	6	7	8	9	10
月	11	12	13	14	15	16	17
❖	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

	日	月	火	水	木	金	土
❖							1
10	2	3	4	5	6	7	8
月	9	10	11	12	13	14	15
❖	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

《新しく入った本》 図書名／著者名／出版社名

- | | | |
|--------------|------------------|-------|
| ◇天頂より少し下って | ／川上 弘美 著 | ／小学館 |
| ◇旅に出たくなる地図世界 | ／帝国書院編集部 著 | ／帝国書院 |
| ◇大どろぼうブラブラ氏 | ／角野 栄子 作 原 ゆたか 絵 | ／講談社 |
| ◇りすでんわ | ／高橋 和枝 著 | ／白泉社 |

【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 5 2 - 0 1 4 4

**国民年金保険料の
納付は口座振替が
おトクです！**

国民年金保険料の納付には、口座振替が利用できます。

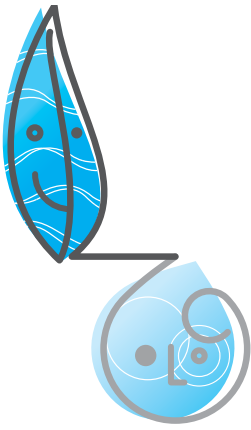
口座振替を利用すると、保険料が自動的に引き落とされるので、金融機関などへ出向く手間が省けるうえ、納め忘れもなくとても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に引き落とさせていただくことで月々50円割引する早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6ヶ月前納もあり、大変お得です。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または大和高田年金事務所でお手続きください。

【問い合わせ先】

大和高田年金事務所
TEL 0745・22・3533



森と水の源流館だより

September, 2011 vol.104

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の二十一

「どんぼ」 雑草木が茂って通れないところ。または、通れないほどの雑草木が茂っている山の状態。

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。



陽光こぼれる水源地の森



風にそよぐイワタバコの花

8月にはうれしい再会がありました。神戸市にある松陰高校の卒業生たちが、水源地の森に帰ってきました。松陰高校は毎年、卒業生を控えた3年生がさまざまな環境

問題に取り組むブルーアースプロジェクトを実施してきました。その出発点となる合宿をこの川上村で展開してきました。森と水の源流館では川上村でのこの活動を今

8月、夏真っ盛りでも「吉野川源流―水源地の森」に入ると気持ちの良い涼しい風が私たちを歓迎してくれました。7月の大雨による増水も一段落して、穏やかな清流に戻ってくれていました。上を見上げると、天を覆い尽くす木々の葉の間からこぼれる光線がキラキラと光って何とも言えません。また、この時期、イワタバコの紫色の花が風に揺れるのも、とてもさわやかです。

8月の水源地の森

まで継続的にサポートしてきています。今回は後輩たちのサポートをしたり、環境問題に取り組んだりするNPO法人の設立準備のため、原



帰ってきた松陰高校の卒業生たち

点の川上村に帰ってきたということでした。川上村を起点に環境活動が広がりを見せ、さらにまた帰ってきてもらえるのもとてもうれしいことです。これからも、多くの環境活動が素晴らしい川上村の自然を起点に行われていくよう願って止みません。

松陰高校のブルーアースプロジェクトは、今年度も12月25日に水源地の森へ、26日は林業体験と続きます。川上村の自然を舞台に、彼女たちへ森や林業への思いを伝えたい方、ぜひ、一緒にやりませんか？ボランティアでの参加や、見学も歓迎しますので、森と水の源流館までお問い合わせください。

みんなで考えよう！ 川上村の環境

その16 ～「環境基本計画」大字説明会での質疑についての回答～

—第4弾 環境基本計画今後の取り組みについて！—



活動推進の基本目標

1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. **自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。**
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本になることをめざします。

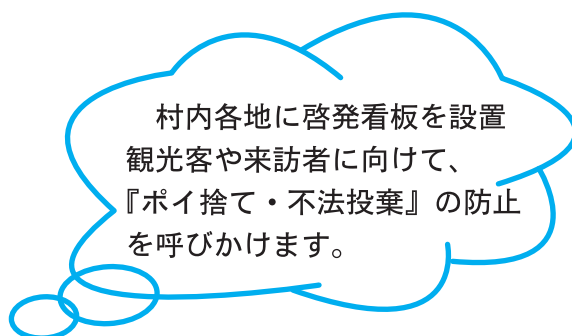
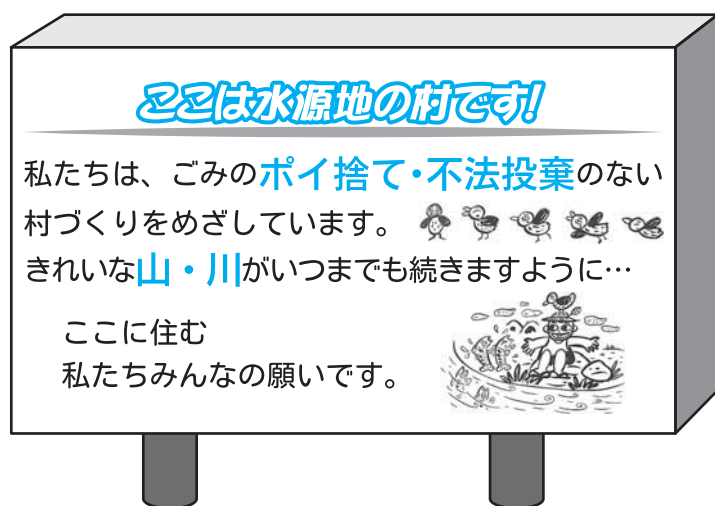
◆川上村らしい風景を育む（川上村環境基本計画・概要版抜粋）

自然景観（山・川）を阻害する放置ごみを撤去するなど環境美化を推進し、ごみを捨てにくい環境づくりを進めます。

◆ごみを削減、再利用する（川上村環境基本計画・概要版抜粋）

不法投棄撲滅のための環境パトロールの強化や悪質者対策の強化等に区・村民・警察・村の連携により進めやすい仕組みを確立して取り組みます。

河川沿い等の観光ごみについては、来訪者に向けた啓発推進と、区・村民・警察・村が連携しやすい環境づくりのために、条例制定などを検討します。



【問い合わせ先】役場生活環境課

TEL 0746-52-0111

今年度の浄化槽補助金は終了しました（来年度分以降の申し込みを受付中！）

浄化槽設置の際の補助金は多くの方に利用いただいています。

今年度予定していた申し込み数となりましたが、引き続き申し込みの受付をさせていただきます。補助金の活用を希望する方は、事前に役場までお問い合わせください。補助金の詳細は広報4月号をご覧ください。どうか、役場にお問い合わせください。

※当初、申込期限を11月30日までとしていましたが、これ以降も受付します。

どうぞご活用ください。

【問い合わせ先】役場生活環境課 TEL 0746-52-0111

10月1日は「法の日」

「法の日」は国民の皆さんに、法の役割や重要性について考えていただくきっかけとなるように設けられました。

法務省では、民法、刑法などの基本法や司法制度等を所管する立場から、法を尊重することの大切さについて理解を深めていただくために、10月1日からの1週間を『法の日』週間に定めています。そして、最高裁判所、最高検察庁、日本弁護士連合会などとともに、全国各地で、新聞やテレビ等による広報、講演会の開催、法務行政相談所や無料法律相談所の開設など、活発で、さまざまな啓発活動を実施しています。

◎法務行政相談および人権相談

と き	と ころ
10月3日(月)～7日(金) 8:30～17:15	奈良地方方法務局五條支局

【問い合わせ先】 奈良地方法務局五條支局 TEL 0747-22-2484

◎特設人権相談所

と き	ところ
10月 6 日(木) 13:00～16:00	吉野町老人福祉センター

◎無料調停相談

と き	ところ
10月 7 日(金) 10:00～15:00	吉野中央公民館（吉野町）

【問い合わせ先】

奈良簡易裁判所（奈良県調停協会）

TEL 0 7 4 2 – 2 6 – 1 2 7 1

◎無料法律相談

と き	ところ
10月3、5、7日 各13:00～16:00	法テラス奈良（奈良市）
10月4、6日 各13:30～16:00	法テラス南和法律事務所 （大淀町）

※事前に電話予約が必要です。あらかじめ電話で
確認ください。

【予約・問い合わせ先】

法テラス奈良 TEL 050-3383-5450

法テラス南和法律事務所 TEL 050-3383-0025

◎司法書士・社会福祉士による
「全国一斉成年後見無料相談会」及び
「遺言と成年後見制度に関する説明会」

共催団体 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート奈良支部
奈良県司法書士会
一般社団法人奈良県社会福祉士会

と き	ところ
9月19日(月) 13:00～15:00 ※12:30開場	かしはら万葉ホール ・ 橿原市文化ホール 4 階

◆遺言と成年後見制度に関する説明会

第1部 「遺言と成年後見」説明会

第2部 「任意後見制度の利用について」説明会

受講料 無料 ※事前申込制

【申し込み・問い合わせ先】

奈良県司法書士会 TEL 0742-22-6677

◎「法の日週間」記念無料法律相談

と き	ところ
10月3日(月) 9:00～12:00 13:00～16:00	経済会館（大和高田市）
10月5日(水) 9:00～12:00 13:00～16:00	奈良弁護士会館（奈良市）

※予約が必要です。

受付期間は、9月12日(月)～29日(木)まで。

先着順。相談時間は1人30分間。

ただし、土・日曜日、祝日は受付できません。

【予約・問い合わせ先】

奈良弁護士会 TEL 0742-22-2035

◆全国一斉成年後見無料相談会

と き	ところ
9月19日(月) 13:00～16:30	かしはら万葉ホール・橿原市文化ホール4階（橿原市）

相談料 無料 ※事前予約制

【予約・問い合わせ先】 奈良県司法書士会 TEL 0742-22-6677

◎奈良県行政書士会無料相談

主催 奈良県行政書士会

後援 奈良県

◆行政奈良なんでも無料相談所の開設

※予約制ですので、事前にご連絡ください。

と き	ところ
10月9日(日)～10日(月) 各10:30～17:00	イオンモール橿原アルル 3階 ロビンコート (橿原市)
10月21日(金)～22日(土) 各10:00～16:00	奈良県行政書士会 会議室

【申し込み・問い合わせ先】

奈良県行政書士会 TEL 0742-95-5400

Eメール gyousei@gyouseinara.or.jp

◆電話無料相談の開設 TEL 0742-95-5400

と き 10月1日(土)～31日(月) 各10:00～16:30 ※土・日曜日、祝日を除く

10月1日から7日までは「公証週間」です

大切な契約や遺言は公証役場で“遺言と任意後見で老後の安心設計を!!”

と き	ところ
毎週月～金曜日 各9:00～12:00、13:00～17:00 ※祝日は除く	高田公証役場 (大和高田市)

【問い合わせ先】 高田公証役場 TEL 0745-22-7166

公証週間中(土、日曜日を含む)、日本公証人連合会では、下記による「電話相談」を実施しています。どうぞ、ご利用ください。

電話番号 03-3502-8239

受付時間 9:30～12:00、13:00～16:30

緊急雇用臨時職員の募集について

緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、失業中の方や職をお探しの方を対象に、短期の雇用・就業機会を提供することを目的に次の臨時職員を募集します。

業務内容 「登山道・遊歩道調査事業」

村内にある登山道や遊歩道を登山客や観光客が安心して歩けるよう調査や補修、登山ガイドマップ等の作成。

募集対象 村内在住で失業中の方や職をお探しの方

雇用期間 平成23年10月1日～12月31日

採用人員 2名

就業時間 原則として、月～金曜日の8:30～17:00

賃 金 時給 1,700円

通勤手当 通勤距離に応じて規定により支給

加入保険 厚生年金、健康保険、雇用保険

提出書類 ①履歴書(写真 縦4cm×横3cm 1枚添付)

②離職が確認できる書類(雇用保険受給資格証など)

※郵送の場合は「緊急雇用臨時職員申込」と封筒に記載し、特定記録郵便で送付してください。

募集期間 平成23年9月27日(火)までの8:30～17:15

※ただし、土・日曜日は閉庁により受付できません。

試験期日 申込み締切後、別途案内します

【申し込み・問い合わせ先】

役場地域振興課 TEL 52-0111 (送付先) 〒639-3594 川上村大字迫1335-7

第54回 村民体育大会

と き 平成23年10月9日(日)
ところ スポーツ公園周辺

受付 午前8時
開会式 午前8時30分
抽選会 午後3時
閉会式 午後3時30分

内 容

パターゴルフ、
グラウンドゴルフ、
健康づくりブース、
軽スポーツ ほか



※予備日 10月10日(月)

※当日の進行により時間が前後します。あらかじめ、ご了承ください。

【問い合わせ先】

川上村教育委員会事務局
TEL 52・0144

第23回 山幸彦まつり

と き 平成23年11月12日(土)～13日(日)
ところ 役場周辺(迫)

【問い合わせ先】

川上村教育委員会事務局 TEL 52・0144



自衛官(男子・女子) 各種募集のご案内

募集種目	受付期間
防衛医科大学 学校学生	《推薦》 平成23年9月5日 から8日
防衛大学校 学生	《一般》 平成23年9月5日 から30日
看護学生	平成23年9月5日 から30日

※資格は男女共通です。

詳しくは、五條地域事務所まで
お問い合わせください。

【問い合わせ先】

自衛隊奈良地方協力本部
五條地域事務所
TEL 0747・22・3789

高齢者講習のお知らせ

◆運転免許センター(公安委員会
直営)でも受講できます!

70歳以上の方が運転免許を更新
される前に受講する高齢者講習は、
県内自動車教習所以外に運転免許
センター(四輪のみ)でも受講で
きます。

《受講対象地域》

県下全域(大和高田市、橿原市、
田原本町の方は除く)

◆運転免許センターで受講するには
《対象者と時間》

対象者	と き
70歳から74歳 の方	午前9時30分 から午後12時30分
75歳以上の方	午後2時 から午後5時

《ところ》

運転免許センター(橿原市)

◆申し込み方法

電話で予約してください。

TEL 0744・29・0290

◆更新期間内に受講すれば、受講
日に同時更新手続きもできます。

※即日交付

【問い合わせ先】

運転免許センター
TEL 0744・29・0290

交通事故から
あなたの未来を守る

自賠責保険

自賠責共済

うっかりでは
すまされません
自賠責!

国土交通省

秋の交通安全県民運動

期間 平成23年9月21日(水)
～30日(金)

交通事故のない やすらぎの
大和路づくり
大和の交通マナーを高めよう

交通安全意識の普及・浸透を図
り、交通ルールの遵守と正しい交
通マナーの実践を習慣づけ、交通
事故の防止の徹底をめざしまし
う。

吉野警察署・川上村



川上俳句会

藤本安騎生選

特選 ダム放流のサイレン響く雨台風

新子谷生子 (北和田)

〔評〕サイレンは警報で、われわれの年代では戦時中の空襲のサイレンに思いが行く。山々を煙らせる雨台風の態が緊張感で詠われている句である。

特選 流木の混じりはじめし出水かな

辻井 清子 (大滝)

〔評〕この句は段々増水してゆく濁流をうまく表現している。それは流木が混じり出した時の変化をしっかりと見た点が手柄である。いい句である。

特選 丹精のトマトの屋根も飛ばさるる

住川 準典 (武木)

〔評〕トマトはビニールで苗が花をつける頃から覆われる。時には有りつ丈の古傘を一本一本立て掛けてあるのを見る。風の強さやトマトの被害まで解る。

佳作 門灯の下で動かず墓

ひきがえる
竹田サダ子 (大滝)

まる三日雨降り続く青嶺かな
短夜や青鷺池を覗きゐる

前田 景子 (大滝)
古瀬 和子 (大滝)

入選 杉高く夏めく雲の流れかな

上田 一郎 (伯母谷)
中谷トクエ (上谷)

石垣に添ふくちなしの花明り

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料(3期)の納期限は9月30日(金)です。

納期限までに納めましょう。
便利な口座振替もご利用ください。

【問い合わせ先】役場総務税務課 TEL 52・0111

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

未来が変わる。
日本が変える。

チャレンジ
25

～ 救急車 必要なのはどんなとき? ～

症状に緊急性がなくても「交通手段がない」「困っているから」「寂しいから」と救急車を呼ぶ人がいます。また、「平日は休めない」や「日中は用事がある」などと、救急外来を夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は限りある資源です。

いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療について考えてみましょう。

こうした理由で救急車が呼ばれることがありました

- ・蚊に刺されてかゆい
- ・海水浴に行って、日焼けした足がヒリヒリする
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・病院で長く待つのが面倒なので、救急車を呼んだ

救急車を呼んだほうがいいのか、どこの病院に行けばいいのかと、迷ったときは消防本部へご相談いただくか、次のような電話相談窓口がありますのでご利用ください。

救急安心センター TEL #7119 (ダイヤル回線やIP電話の場合は TEL 0744-20-0119)

こども救急電話相談 TEL #8000 (ダイヤル回線やIP電話の場合は TEL 0742-20-8119)

吉野広域行政組合消防本部 TEL 0746-32-1011 FAX 0746-32-0130

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

高齢者インフルエンザワクチン接種について

川上診療所での接種については、今月号の折込チラシをご覧ください。
村外の医療機関での接種については、広報10月号でお知らせします。

【問い合わせ先】
川上診療所 TEL 52・0344
役場住民福祉課 TEL 52・0111

せんたいるい 日本蘇苔類学会 第40回奈良大会

後援：川上村・川上村教委・財団法人吉野川紀の川源流物語

8月8日から10日までの3日間にわたり、コケ植物の研究者で作る学術団体「日本蘇苔類学会」の第40回奈良大会が川上村で開催されました。本学会が奈良県で行われるのは設立時の第1回大会以来で里帰りともなります。

9日にはやまぶきホール（宮の平）を会場に、辰巳教育長の挨拶の後、最先端の研究結果が発表されました。また、先だって行われた観察会で、川上村では2カ所目の発見となる絶滅危惧種（Ⅱ類）のカシミールクマノゴケが蜻蛉の滝から発見されるなど、多くの研究者が集まったおかげで、川上村のすばらしい自然が見つめ直される良い機会ともなりました。

開催にあたって、ご協力いただいた皆さまに、この場を借りて感謝いたします。

森と水の源流館

木村 全邦



全国から集まったコケの専門家

配布日延期について お詫び

広報9月号の配布が16日に延期になったことをお詫びいたします。これは、4日に発生した災害について掲載をするためのもので、ご理解くださるようお願いいたします。

川上村広報編集委員会

ツルアードオンシ

(蔓蟻通し)

つる性常緑多年草。
林内や林縁に生える。茎は地を這って分枝する。果実は球形で赤く熟する。

花期 6～7月



かわがみの草花

村の人口

8月31日現在

人口総数 1,805 人（－8 人）
男 850 人（－1 人）
女 955 人（－7 人）
世帯数 917世帯（－1世帯）

8月中の異動

転入 5 転出 10
出生 0 死亡 3

せんたくんプレミアム商品券 の予約販売受付中！

詳細は県民だより奈良9月号
をご覧ください。

【問い合わせ先】

プレミアム商品券コールセンター
TEL 0742・21・6101

おくやみ (敬称略)

島 静子(東川)

8月29日 97歳

中川トメノ(柏木)

8月30日 97歳

社会福祉協議会へ、次の方から
善意が寄せられました(敬称略)

10万円 竹内 一幸(柏木)

亡母の供養として